

法人名 社団法人 山梨県畜産協会

【法人の概要】

代表者名	会長 功刀光紀	所管部(局)課	農政部畜産課		
所在地	甲府市里吉3-9-1	電話番号	055-222-4004		
ホームページURL	http://yamanashi.lin.go.jp	E-mail アドレス	info@yamanashi.lin.go.jp		
資本金(基本財産)	343,272 千円	設立年月日	昭和31年1月28日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資比率	
	1	農畜産業振興機構	125,000	千円	36.4 %
	2	山梨県	87,500	千円	25.5 %
	3	全国農業協同組合連合会	31,590	千円	9.2 %
	4	山梨県酪農業協同組合	12,630	千円	3.7 %
	5	山梨県信用農業協同組合連合会	11,500	千円	3.4 %
	6	全国共済農業協同組合連合会	7,500	千円	2.2 %
	7	梨北農業協同組合	7,174	千円	2.1 %
	8	笛吹農業協同組合	7,160	千円	2.1 %
	9	巨摩野農業協同組合	6,010	千円	1.8 %
	10	北杜市	5,090	千円	1.5 %
	その他	43団体(者)	42,118	千円	12.3 %
設立の経緯等	・平成13年4月に(社)県畜産会、(社)県畜産物価格補償協会、(社)県肉用子牛価格安定基金協会、(社)県家畜畜産物衛生指導協会の4団体を統合し設立された。 ・畜産業を営む者及びその組織する団体の経営・運営指導、所得安定対策、家畜及び畜産物の価格安定対策、肉用子牛生産者補給金の交付、家畜の飼養管理及び保健衛生に関する技術指導その他畜産の発展に資するための事業を行い、畜産振興に寄与することを目的とする。				

【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H17年度	H18年度	H19年度
事業1 畜産経営技術高度化促進事業	経営感覚に優れ、より畜産性の高い畜産経営体によって競争力の高い生産構造を確立していくため、コンサルタント団による支援指導等の取り組みを行う。また、担い手の育成確保を推進する。	4,214	3,703	3,350
事業2 自衛防疫・自主管理強化対策事業	畜産農家の組織化に対応し、家畜の衛生管理を計画的に実施することにより畜産農家の自主的な防疫措置の定着化を図り、家畜の伝染病発生予防と生産者の向上に資する。	20,551	23,136	18,418
事業3 補給金制度運営適正化事業	補給金制度の適正かつ円滑な推進を図るための各確認事務、啓発指導、報告等を実施する。	7,475	6,509	5,069

【組織】

	年度	平成18年度					平成19年度					平成20年度							
		職員	プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他	職員	プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他	職員	プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他
4月1日現在の人員																			
役員	理事(常勤)	1			1		0					0							
	理事(非常勤)	14		2		12	14		2	1	11	15		2	1	12			
	監事(常勤)	0					0					0							
	監事(非常勤)	3		1		2	3		1		2	3		1		2			
	評議員	0					0					0							
	計	18	0	3	1	14	17	0	3	1	13	18	0	3	1	14			
職員	管理職	3	3				3	3				2	2						
	一般職員	3	3				3	3				4	4						
	臨時職員	3	3				3	3				2	2						
	非常勤職員	1			1		1			1		1			1				
	計	10	9	0	1	0	10	9	0	1	0	9	8	0	1	0			
プロパー職員の年齢構成(H21.4.1現在)		年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計			平均年齢	平均年収						
		男性				2	1		3	役員		(千円)							
		女性			1	1	1		3	常勤									
	合計	0	0	1	3	2	0	6	職員	46.8	(千円)	4,387							

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		17年度	18年度	19年度	増減(19-18)
収支状況	基本財産運用益	1,923	2,061	2,629	568
	会費収入	2,386	2,449	2,429	△ 20
	寄付金収入	0	0	0	0
	受託事業収入	9,322	11,445	15,094	3,649
	自主事業収入	23,634	26,004	25,036	△ 968
	補助金収入	121,763	55,993	99,697	43,704
	その他の収入	192,113	283,073	166,556	△ 116,517
	当期収入計①	351,141	381,025	311,441	△ 69,584
	前期繰越収支差額	6,722	5,204	7,319	2,115
	収入計②	357,863	386,229	318,760	△ 67,469
	人件費	37,359	35,839	38,237	2,398
	その他の支出	315,299	343,071	272,037	△ 71,034
	当期支出計③	352,658	378,910	310,274	△ 68,636
	当期収支差額①-③	△ 1,517	2,115	1,167	△ 948
次期繰越収支差額②-③	5,205	7,319	8,486	1,167	

(単位:千円)

項 目		17年度	18年度	19年度	増減(19-18)
財務状況	流動資産	18,325	161,101	25,378	△ 135,723
	固定資産	700,434	589,700	642,968	53,268
	資産計	718,759	750,801	668,346	△ 82,455
	流動負債	13,088	153,781	16,892	△ 136,889
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	471,964	353,937	404,647	50,710
	うち長期借入金	790	0	0	0
	負債計	485,052	507,718	421,539	△ 86,179
	正味財産	233,707	243,083	246,807	3,724
	うち基本財産等	218,272	218,272	218,272	0
	うち基本財産以外の正味財産	15,435	24,811	28,535	3,724
	うち当期正味財産増減額	△ 964	9,375	3,725	△ 5,650
	その他積立金等	16,389	15,436	24,810	9,374

(単位:千円)

項 目		17年度	18年度	19年度	増減(19-18)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	3,147	3,173	3,899	726
	補助金計	3,147	3,173	3,899	726
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金				0
	人件費以外の委託金	5,815	5,302	4,949	△ 353
	委託金計	5,815	5,302	4,949	△ 353
	県支出金計	8,962	8,475	8,848	373
	県の財政的関与の割合(%)	2.6	2.2	2.9	1
	県貸付金残高				0
県債務負担実際残高				0	

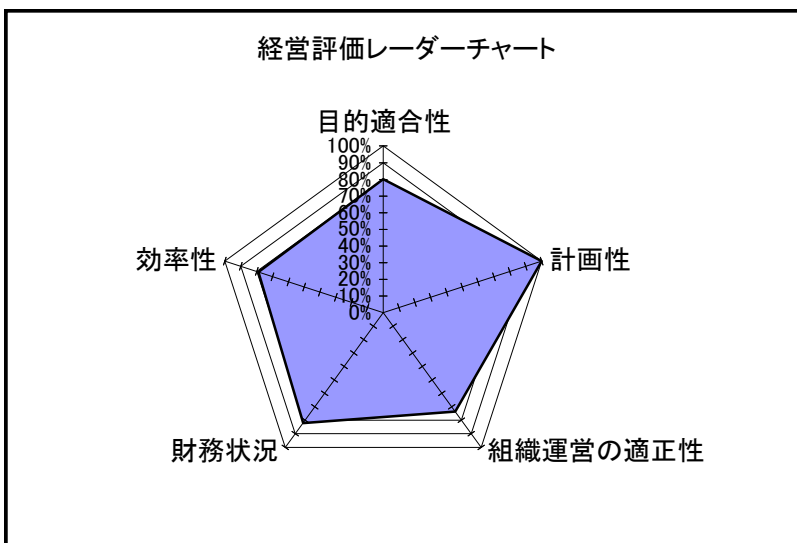
【県の財政的関与の内容・目的】

項目	内容・目的
補助金(運営費)	該当なし
補助金(事業費)	自衛防疫強化総合対策事業(2,939) 肉用繁殖牛増頭対策推進事業(960)
委託金	高度化促進事業(3,350) 豚コレラ清浄農家指導及び農場監視体制強化事業(1,599)
債務負担行為	該当なし

(単位:千円)

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	16	80.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	15	11	73.3%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	36	81.8%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	7	28	22	78.6%
合計		32	127	105	82.7%



【警戒指標】

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	本協会の設立目的、定款に従った適切な運営がなされている。
計画性	本協会の主要な業務が、中央畜産関係団体等からの補助事業や委託事業を受けて実施していることから、長期計画を策定することが困難ではあるが、管理部門については今後とも長期的な経営計画をもって運営に当たっていく。
組織運営の適正性	適正な運営がなされている。
財務状況	適正な要員配置を図りながら人件費や管理経費の見直しを継続していく。
効率性	業務部門について、実施体制の見直しを行い、一層相互補完が出来るような体制作りに取り組んでいくとともに、業績評価を適切に給与に反映させるため、賞与査定制度の導入を実施していく。
総合的評価	概ね適切に運営がなされているが、今後さらに安定した経営がなされるよう収入の確保に取り組んでいく。



対応策	行政を補完する対策を着実に実行するとともに新規事業の積極的な取り組みや資金の効率的な運用を行い、安定した収入の確保を図っていく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	県内の畜産農家及び団体に対し経営・運営の指導、所得安定対策及び家畜の飼養管理と保健衛生に関する技術指導等を行うなど、法人の設立目的に適合している。
計画性	合理化計画に基づき各年度の具体的な事業計画を定めて運営を行っている。また各事業ごとに計画と実績の差異分析も行っており、計画的である。
組織運営の適正性	運営体制については、経営指導課と衛生指導課を統合し、より合理的な業務体制となっている。また職員についても、必要最低限の6名体制となっていることから、一層の効率的な業務遂行を進める体制整備が必要である。
財務状況	中央団体等からの補助が運営費の大部分を占めているが、今後は、法人単独事業等に積極的に取り組むことにより自主財源を確保し、安定的な財政運営を図ることが必要である。
効率性	事業収入確保や管理費削減に対する運営努力は認められるが、必要最低限の人員で多くの事業を行っていることから、更に各事業課が連携し効率的に事業に取り組む必要がある。
総合的評価	概ね設立目的に沿った法人運営がなされており、十分に評価できる。 今後は、中央団体からの助成金等の縮減により、法人経営が厳しさを増すことが予想されることから、より安定的な運営を行うため、法人単独事業等に積極的に取り組み、自主財源を確保していく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> A (75%~) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> B (60%~75%) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> C (50%~60%) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> D (~50%) </div> </div> <p>・平成15年度に経営計画を策定し、これまで県支出金の削減や組織体制の見直し、運営コスト削減に努めており、各項目の評価にもその効果が表れており、全体的に見ても健全な経営状況にあるといえる。</p> <p>※ ランク下の%は得点率の範囲</p> <p>・今後は、中央団体の補助金等の削減により、法人経営が厳しさを増すことが想定されることから、改革実績の検証を定期的に行い、更なる効率化・合理化に努めるとともに、研修会等を実施し、職員個々の職務等に関するスキルの一層の向上を図る必要がある。</p> <p>・また、職員の高齢化が進み、人件費の増嵩も予想されることから、職員の意欲向上を図りつつ、人件費総額の抑制方策の検討が必須となる。</p>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

県内の畜産振興に寄与するため、県の施策を補完する事業を着実に実行するとともに新たな事業にも積極的に取り組み、安定的な財源確保に努めていく。

このため、次の取り組みを行う。

- ・平成21年度中の中・長期経営計画の策定
- ・計画と実績の差異分析
- ・実施事業に合わせた適正な要員配置
- ・研修等による組織の活性化と職員資質向上
- ・業績評価を適切に給与に反映させる賞与査定制度の適正な実施